

# 2014（平成26）年度前期 DUO リーグ会議報告

## ◆DUOリーグ・アウォーズ（確認のみ（★はトロフィーを郵送します））

### 1. 前期リーグ … 8月14日16時より小石川中等教育学校多目的ホールにてアウォーズ開催

1部リーグ 優勝 … 豊島学院 A

MVP … 小野貴則（豊島学院A）【主将であり、CBとして全試合フル出場。チームの大黒柱】

得点王 … DU ★佐久間 海世（荒川商業）、★小池笙太（中大高）8得点

UO ★佐々木大成（小石川）6得点

2部リーグ 優勝 … 都立江北高校B

MVP … ★田中 拓也（江北B）【vs豊島学院B戦において逆転の2得点をあげる活躍】

得点王 … 2部D ★若林佑帆（立教池袋）3得点

2部U ★一場空杜（都江北C）8得点

2部O ★林 希憲（江北B）11得点

優秀審判賞、特別賞は該当者なし

### 2. 後期イベントフリーサイズフットボール … 12月22日に筑波大附Gにて表彰式を開催

優勝 … 午前2時のオーバーラップ（本郷）

MVP … ★村田捷行（本郷）

ベストオーガナイザー … ★灘侑祐（筑波大附）

MIP、優秀審判賞、特別賞は該当者なし

## ◆DUOリーグ会議

【日 時】 2014（平成26）年3月2日（日） 17：00～18：45（終了後、日程調整会議）

【場 所】 筑波大学附属高校会議室

【出 席】 29クラブ（代表者名／下線は遅刻）

都小石川(長山)、昭和一(永井)、三菱養和(山本)、京華(杉山＝代理)、都向丘(北洞)、筑波大附(中塚)、  
学習院(玉生)、豊南(小寺)、本郷(岩野)、城西(中川)、豊島学院(早川)、郁文館(井上)、駒込学園(宮坂)、  
巢鴨(山中)、立教池袋(橋本)、獨協(神宮寺)、淑徳巢鴨(石原)、都竹早(蓑田)、日大豊山(海老根)、都  
文京(中村)、都足立(浅井)、足立学園(伊藤)、都荒川商(智片)、中大高(加藤)、都足立西(栗山)、都千  
早(荻田)、文京区中学生選抜(丸山)、FC西巢鴨03(岸)

【欠 席】 都江北→郁文館に委任

【オブザーバー：選手】 なし

【オブザーバー：一般】 大河原(筑波大附 OB)、馬場(巢鴨)、北爪(豊島学院)

【議事録作成者】 中塚義実

## I. チェアマン&理事会より

### 1. 2014シーズンの動向

#### 1) 6月にFIFAワールドカップ開催！

今大会では、DUOリーガーで日本代表入りしそうな選手はいないが、多くの元DUOリーガーがさまざまな分野で活躍している。

## 2) 8月に「第1回 全日本ユース (U-18) フットサル大会」開催!

サッカーのリーグ構想と並行してU-18年代のフットサル環境の整備を進めてきたが、いよいよ2014年度からJFA主催の全国大会が始まる。東京都予選は5月18日(日)と6月29日(日)。優勝チームは全国大会、準優勝チームは7月13日(日の関東予選へ出場する。3月末には日本フットサル連盟主催で「U-18フットサルトーナメント2014」が行われる。U-18年代のフットサルにも注目。

## 3) ユースリーグの動向

- ・関東プリンス2部が廃止され、東京ではT4が誕生する。地区トップリーグとT4がつながるが、昇格数については、上位リーグにいて既得権を持つチームに有利な印象。
- ・2014年度のリーグ構成は次のとおり。DUOは地区トップリーグのプレミアリーグ(ホーム&アウェイ) イースト(10)、ウェスト(10) プリンスリーグ関東(ホーム&アウェイ) 10チーム  
T1(ホーム&アウェイ) 10チーム  
T2(ホーム&アウェイ) 10チーム  
T3(1回戦総当たり&順位戦) 10チーム  
T4(1回戦総当たり&順位戦) 10チーム  
地区トップリーグ(1回戦総当たり&順位戦) 8+8+8+7
- ・高校選手権東京都予選方式の変更  
夏に行われる高校選手権予選が、従来の地区大会から始まる形でなく、はじめから地区を越えた全都大会の形式で開かれることになった。最も早いグループは8月11日から始まる。

## 2) 2月26日(水) 理事会報告

18:30~20:30、筑波大附会議室にて中塚(チェアマン)、小金丸(学識理事)、岩野(事業部長)、井上(管理部長)、山中(企画部長代理)、佐藤(リサイクルプロジェクト)が出席し、DUO会議および2014年度シーズン開幕へ向けての準備を開始した。

事務局から提案があった「会計年度の変更」について、理事会提案としてDUO会議で審議することとなった(後述)。

## 3) 加盟クラブの確認と加盟票(基礎調査)の扱いについて

新規加盟はなし(ただし、DUO未加盟ではあるが前期リーグのみ参加するクラブはある)。

加盟票(基礎調査)は、毎年2月中旬までに提出していたが、今回は1年生が確定する連休前までに提出してもらうのでよい。様式については後日配信。

## II. 2013年度事業報告および決算

### ◆12月のDUO会議後の各事業報告および2013年度の決算報告

事務局から提示された決算報告が承認された。

### ◆2014年度へ向けての理事会提案

「DUOリーグの会計年度を<2月~翌年1月>に変更したい」について審議した。

理由は次のとおり。

- ・DUOリーグの主たる事業である「リーグ戦」が12月末日で(プレーオフ等があったとしても1月中には)終わり、1月以降の各種講習会は次年度事業と考えることができる。
- ・2月末~3月初旬に開かれるDUO会議は、次年度第1回目の会議であるが、2~3月に各種講習会が開

かれた場合、年度の締めがなかなかできない

- ・このような事情から近年はDUO会議の日で会計を締めていた。もっと以前は2月末日で締めていたが、いつの間にかこうなっており、会議日の設定次第で変動してあいまいになっていた。



審議の結果、承認。

<補足>

- ・会計年度が変わるということは、同時に事業年度も変わる
- ・移行期となる2013年度はDUO会議の2014年3月2日まで、2014年度は3月3日から2015年1月31日まで

### Ⅲ. 各担当より

#### 1. 事業部門（岩野）

##### 1) 競技部：2014年度前期リーグについて

- ①参加チーム、リーグ編成 … 事業部長提案のとおり。
- ②要項の確認 … チェアマンが用意した資料をもとに確認・審議した。
  - ・「大会規定」について、「チーム数の関係で1部、2部とも複数ブロックに分かれているが、本来は一つのリーグなので順位づけをしたい。順位決定戦（プレーオフ）を行うことは試合数確保にもつながる。7月末までにリーグ戦を終え、8月末までに1部、2部とも全チームが順位決定戦を行う」との事業部長提案があり、審議した。高校選手権予選日程の変更もあり、順位決定戦を8月末までにできるかという問題もあるが、「互いに連絡を取り合って何とか実施する（努力目標）」こととして事業部長提案が採用された。
  - ・リーグ内の順位決定方法に、従来の項目に加えて「抽選」を加えた。順位決定戦進出チームを決めるための順位づけが必要になったことによる。
  - ・「地区トップリーグへの昇降格は、1部1位に与えられる。（中略）1部下位2チームと2部上位2チームは自動入れ替えを原則とする」に、「ただし、1部からの降格チーム数は、上位リーグからの降格チーム数によって変動する」を加える。この運用について事業部長から補足説明があり、審議の結果、「2部から2チームの昇格を保証する」ことが確認された（1部リーグのチーム数が16であることは、これまでのDUO会議で確認済み）。
  - ・「自由な交代」についてはいくつか意見が出たが、「周りが見えなくなっているプレーヤーを一度外に出して落ち着かせ、改めて投入することによって、一つの試合の中で育てることができる」というこれまでのメリットを尊重し、DUOリーグにおいては1部も2部も自由な交代を認める従来のルールを残すことにした。
- ③スケジュール … 4月（3月末からOK）～7月末日がリーグ戦。8月末日までに順位決定戦。詳細はこのあとの日程調整会議にて決定する。

##### 2) 審判部（◎城西：中川）

###### ・審判講習会

3月9日（日）城西高校で、DUOリーグ審判講習会を予定。

参加申込は80名（一般10名、女子2名、残りは高校生（最終的に76名で実施した）

##### 3) 技術部（◎豊島学院：早川）

###### ・技術講習会

3月23日（日）14:00～16:00、豊島学院高校で技術講習会を予定。

テーマは「狭いところでのトレーニング」。指導スタッフは小島氏ほか4名。

参加申込は25名。もっと増えても大丈夫（最終的には22名で実施した）

## 2. 管理部門（井上）

### 1) 経理部（◎事務局：局長代行・岸父）

- ・2013年度決算報告および2014年度予算

決算報告は冒頭で終了。

予算案については事務局長が帰国後に改めてMLで提示する。基本的には前年どおりだが、事業年度の変更を反映させる。

- ・未払いと払い戻しについて確認した。会議後に払い戻しを実施

### 2) 広報部（淑徳巣鴨：石原）

- ・前期プログラム

昨年度から、冊子としてのプログラムは年1回の発行になった。1年生の名前を載せられるように、締切を4月末日とする。プログラム原稿となるメンバー表は、指定のフォーマットに各チーム作成しておき、それに1年生の名前を加えてプログラム原稿とする。

企画等についてアイデアがあれば寄せていただきたい。

### 3) 規律部（◎駒込：宮坂）

- ・JFAの懲罰規定が一部変更になることについて情報提供があった。DUOリーグについては従来どおり、リーグ内で処理する（累積警告や退場にもなう出場停止はリーグ内のみ影響する）。

＜参考：懲罰規程の各種変更について＞（2014年4月1日施行）

#### (1) 出場停止の消化に関する規定の変更（懲罰規程[別紙2]第4条）

退場による出場停止処分の適用対象試合について、以下のとおり変更される。

現行：大会に関係なく、その処分を受けた試合の次の公式戦にて適用される

変更後：同一大会における次の試合にて適用される

注）同一大会は同年度における同一大会とする。また、大会の終了等によって残存した出場停止処分については、順次、次の公式戦に適用される

（以下略。詳細はJFAオフィシャルサイト参照）

## 3. 企画部門（岸）

### 1) 医・科学活動推進部（◎文中選：丸山）

2013年度は栄養講習会とテーピング講習会を実施した。2014年度も同様に実施したい。

### 2) リサイクルプロジェクト推進部&地域活動推進部

- ・リサイクルプロジェクト講習会（巣鴨：山中）

3月23日（日）9:00~12:00、巣鴨高校にて「リサイクルプロジェクトーコインケースづくり講習会」を予定。参加申込は20名程度。もっと増えても大丈夫（最終的には●名で実施した）。

## Ⅲ. 2014年度へ向けて

- ・会議終了後、1、2部とも日程調整会議を行う。役割分担とマッチメイクを行い、すみやかにMLに投稿、調整する。
- ・メンバー表として、所定の書式に新2,3年生分が書かれたものを用意する。それに1年生を加えたものをプログラム原稿として作成、4月末日締切。

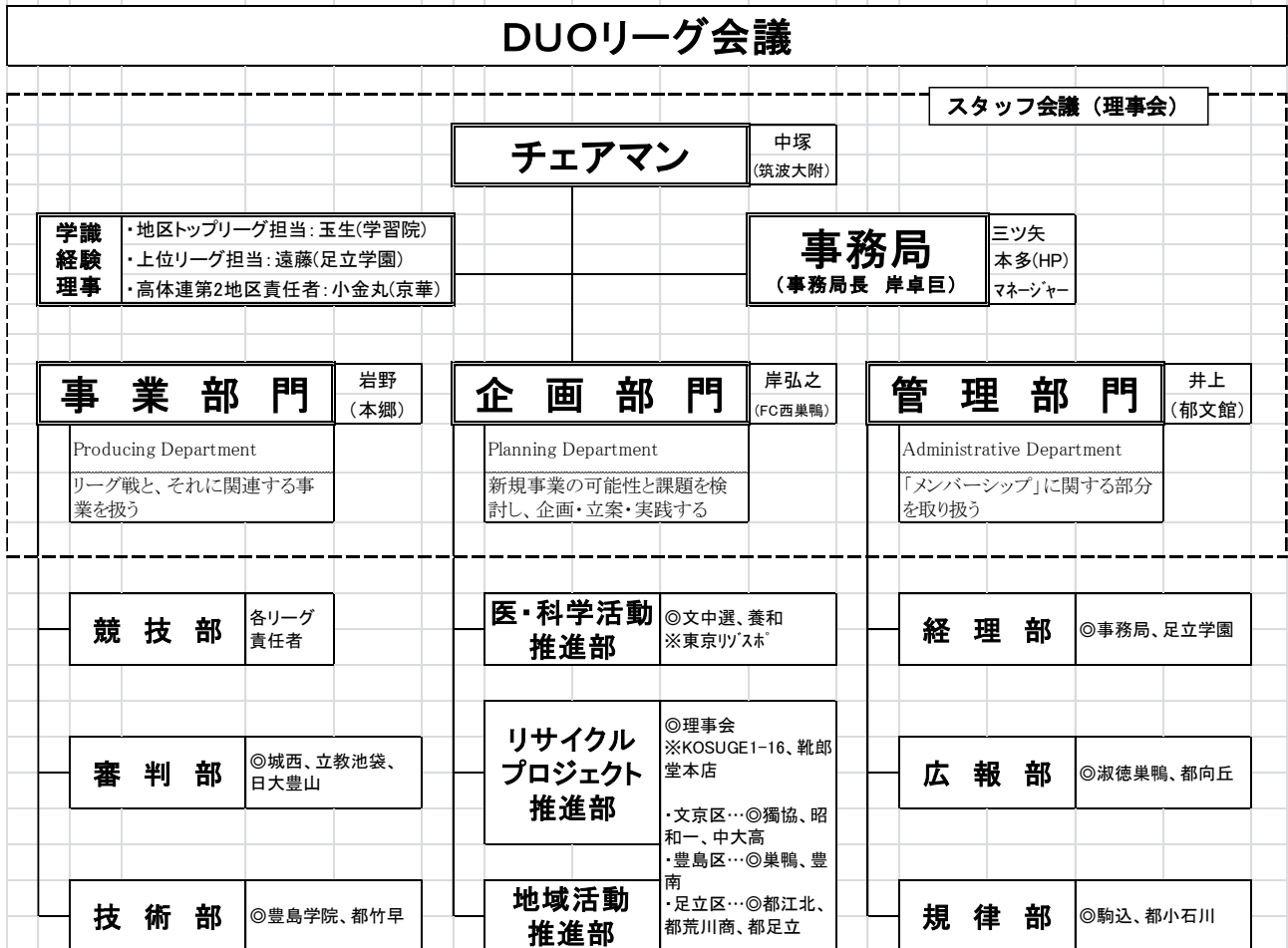
以上

（文責：中塚義実）

◆参考1：リーグ全体の組織（2013～14年度）

2013.3.27.

# <DUOリーグ組織図(2013～2014)>



◆参考2：2013年度前期リーグ 役割

2013年度前期DUOリーグ 各リーグ役割分担

	1部DUリーグ	1部UOリーグ	2部Dリーグ	2部Uリーグ	2部Oリーグ
<b>責任者</b>	永井(昭和一)	早川・小島(豊島学院)	早川(豊島学院)	石原(淑徳巣鴨)	中川(城西)
<b>副責任者</b>	松田(都文京)	丹羽(都豊島)	松田(都文京)	北爪(豊島学院)	清水(駒込)
<b>会計</b>	小寺(豊南)	藁田(都竹早)	室橋(淑徳巣鴨)	藤巻(本郷)	都丸(本郷)
<b>記録・集計</b>	中野(都荒川商業)	伊藤(足立学園)	伊藤(足立学園)	神宮司(獨協)	馬場(巣鴨)
<b>競技</b>	加藤(中大高)	岩野(本郷)	斉藤(立教池袋)	川原(日大豊山)	岸(FC西巣鴨03)
<b>審判</b>	加藤(中大高)	井上(都文館)	北洞(都向丘)	藁輪(都江北)	藁輪(都江北)
<b>技術</b>	亀井(日大豊山)	長山(都小石川)	丹羽(都豊島)	栗山(都足立西)	志村(都文館)
		宮坂(駒込)			日高(都千早)

<各役割の内容>

<b>責任者</b>	リーグ会議の開催など各リーグ全体の統括
<b>副責任者</b>	責任者の補佐
<b>会計</b>	「2011前期各リーグ会計資料」を作成し、経理部に提出
<b>記録・集計</b>	各会場より報告された試合結果をもとに、ホームページ内呈取表の更新 excelで「得点ランキング」「審判記録」「警告退場記録」を更新し、その都度MLに流す
<b>競技</b>	リーグ会議の結果をもとに日程表を作成し、MLに流す
<b>審判</b>	競技係が作成した日程表をもとに審判割り当てを行い、表に記入してMLに流す
<b>技術</b>	DUO選抜や交流会等のリーグ内告知および参加者取りまとめ

### ◆参考3：DUO リーグのスローガン（1996～2013）

- 1996 DUO リーグ発足
- 1997 よりよいサッカー環境を構築し全国へ情報発信する
- 1998 ①普遍性の追求＝どこでもできるようにシステム化  
②DUO リーグの発展＝より良いサッカー環境の構築
- 1999 ①レベルに応じた環境づくり－入れ替え制度  
②リーグ単位の自主運営制度
- 2000 2001 年度より「東京都ユースサッカーリーグ」を創設すべく行動を開始する
- ・リーグ戦プログラムを作る
  - ・前期に「フレッシュマリーグ」をつくり1年生の受け皿とする
  - ・審判講習会を開催する
  - ・DUO リーグ選抜の活動を行う
  - ・業務の統合と分担を進める
- 2001 ①東京都ユースサッカーリーグを早期に実現すべく行動を継続する  
②DUO リーグ“TI 革命”元年とする  
③“FCDUO”構想の可能性について検討する
- 2002 1. 組織としての DUO リーグを確立する
- ①適材適所の組織改革
  - ②“TI 革命”の推進
  - ③“FCDUO”の立ち上げ
  - ④リスクマネジメントの研究と実践
2. 東京都ユースリーグ創設に全力を尽くす
- 2003 “当事者意識”を高め、「DUO リーガー」を、「DUO クラブ」を、「DUO リーグ」を、そして「東京都ユースサッカーリーグ」を育てよう！
- 2004 “公認リーグ”のあり方を考えよう！
- 2005 DUO リーグ 10 周年を成功させよう！
- ①10 周年記念行事を成功させよう！
  - ②上位リーグを組織しよう！
  - ③規約を整え組織を充実させよう！
- 2006 11 年目のリスタート！ 原点に帰ろう！
- ①リーグ単位の自主運営制度導入
  - ②E リーグの発足（DUO の上位リーグとして）
  - ③地区リーグ感の連携強化（地区リーグ交流戦の開催）
- 2007 レベルとニーズにあった受け皿をつくろう！
- ・レベルにあった受け皿：DUO、E、地区トップ、T、プリンス
  - ・ニーズにあった受け皿：プレーヤー、ワフエリ、コーチ、トレーナー、マネージャー
- 2008 トロフィーを、みんなで作ろう！
- 2009 自分のことは自分でしよう！
- 2010 歴史から学ぼう！
- 2011 がんばろう、ニッポン！
- － サッカーを愛する人にできること
- 2012 “温度差”をなくそう！
- 2013 歴史を踏まえて歴史を作ろう！
- 2014